


No.	No.1
受入先	株式会社インタートレード
ホームページ	https://www.itrade.co.jp/
事業内容	金融ソリューション事業、デジタルトレード推進事業、ビジネスソリューション事業、ヘルスケア事業
テーマ名	金融の未来を考えよう ～新しい金融は、どんな社会課題を解決しようとしているのか?～
テーマ詳細内容	デジタル技術の進化により、金融は単なる「お金を扱う仕組み」から、社会や人の行動・意思決定を支える基盤へと変化しています。一方で、キャッシュレス化や暗号資産の普及が進む中でも、金融が本当にどのような社会課題を解決しようとしているのかは、十分に言語化されているとは言えません。本プログラムでは、学生自身の違和感や関心を出発点に、新しい金融が解決しようとしている社会課題を考え、未来の金融のあり方を主体的に探っていきます。
参加を歓迎したい学生像 必要な知識経験	本プログラムでは、金融やITの専門知識の有無よりも、興味・関心を重視しています。一方で、本プログラムは、与えられた課題に取り組む形式ではなく、課題の設定そのものから学生自身で行うため、難易度は高めです。受け身ではなく、自ら問いを立て、考え、学ぼうとする姿勢のある方の参加を歓迎します。 <ul style="list-style-type: none"> ・社会や身の回りの仕組みに疑問や関心を持ち、自分なりに考えてみたい学生 ・チーム内外で意見交換をしながら、他者の視点を取り入れて考えを深められる学生 ・正解のないテーマに対しても、試行錯誤を楽しみ、粘り強く取り組める学生 ・将来のキャリアや働き方について、自分なりの軸を見つけたいと考えている学生
問題・課題の難易度 (チャレンジ度)	チャレンジレベル(★★★) 高い主体性と継続的な関与が求められる内容
上記のテーマ内容・抱える問題 に関するSDGs目標	 
※画像をクリックするとSDGs目標の詳細をご覧ください	
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・社会課題を起点に金融を考えられる 金融やITを知識として学ぶのではなく、「新しい金融はどんな社会課題を解決しようとしているのか」という問いから思考を深めます。 ・学生主体で進む問題解決型プログラム 答えを教わるのではなく、学生自身が問いを立て、仮説を考え、検証しながらプログラムを進めます。 ・金融×ITのリアルに触れられる 金融取引やデジタルサービスを支える現場の考え方や、実務における課題に触れる機会があります。 ・外部視点で考えを磨けるオープン回を実施 他大学の学生や若手社員との意見交換を通じて、自分たちの考えを客観的に見直し、深めることができます。 ・キャリアにつながる思考力が身につく 金融業界に限らず、社会の仕組みを捉え、課題を整理し、自分の考えを言語化する力を将来に活かせます。
活動スケジュール (イメージ)	<p>5月 オリエンテーション・問いを持つ プログラムの目的や進め方を共有し、身近なお金や金融に関する体験を振り返ります。学生自身の違和感や関心を言葉にし、個人テーマの種を見つけます。</p> <p>6月 仮説を立てる 金融と社会の関係性を事例から整理し、「新しい金融はどんな社会課題を解決しようとしているのか」という仮説を立てます。学生主体回では、互いの問いを共有し、深掘りします。</p> <p>7月 視点を広げる チームでの検討を開始し、他者の視点を取り入れながら考えを整理します。金融を「使う／使わない」両面から捉え直します。</p> <p>8月 金融を“道具”として理解する 日本銀行「貨幣博物館」を見学(オープン回)。貨幣や制度、信用の歴史を通じて、金融がどのような課題解決のために生まれてきたのかを考えます。</p> <p>9月 アイデアを磨く 他大学の学生や若手社員も参加するオープン回でアイデアを共有し、外部からの問いや違和感を受けて再設計します。</p> <p>10月 現実に耐えるかを考える 想定ユーザーや利用シーンを具体化し、制度や運用、実現性の観点から検討します。学生主体で検証・修正を行います。</p> <p>11月 成果の言語化・交流会 社内向け成果発表を行い、現場社員からフィードバックを受けます。最終発表に向けて、考えてきたプロセスとストーリーを整理します。あわせて、インタートレード社員との交流会(打ち上げ)を実施し、仕事やキャリアについて意見交換を行います。</p> <p>12月 最終発表・振り返りワークショップ 専修大学にて最終提案・発表を行います。あわせて振り返りワークショップを実施し、プログラムで得た視点や学びを整理し、今後の人生につなげます。完成度だけでなく、問いの立て方や思考のプロセスを重視します。</p>
学生との打合せの曜日・時間帯	チームメンバーのスケジュール状況を鑑み、平日夕方～夜の時間帯で実施想定。
主な打ち合わせ場所	本社(東京都中央区新川1-17-21 茅場町ファーストビル3F)
打ち合わせ場所の最寄り駅	茅場町駅(東京メトロ東西線・日比谷線)4b出口より徒歩5分 水天宮前駅(東京メトロ半蔵門線) 2番出口より徒歩8分
受入可能人数	8名
受入先・課題のイメージ	



No.	No.2
受入先	川崎市多摩区役所
ホームページ	https://www.city.kawasaki.jp/tama/
事業内容	第16回たま音楽祭の企画・運営
テーマ名	～ 多摩区民手作りの音楽祭を盛り上げよう！～
テーマ詳細内容	たま音楽祭は、多摩区内やその近郊で音楽活動を行っているミュージシャンや団体に、日頃の成果を発表する場を提供するとともに、音楽で多摩区を盛り上げようという、区民による手づくりの音楽祭で、今年で16回目となります。 「より多くのお客さま(特に若い世代)に来場いただくには?」、「効果的なPR方法は?」など大学生ならではの視点とアイデアをお願いします。 地域の方と一緒に、実行委員として音楽祭の企画・広報・運営に携わっていただきます。令和9年1月16日(土)開催予定です。
参加を歓迎したい学生像 必要な知識経験	<ul style="list-style-type: none"> ・地域イベントに関心があり、音楽や文化活動を通じて地域の魅力発信に取り組みたい学生 ・チーム内でコミュニケーションを取りながら、協力して企画・運営に関われる学生 ・当日の運営補助など、現場で臨機応変に動くことに前向きに取り組める学生 ・イベントづくりのプロセスに興味があり、新しい知識や経験を積極的に吸収したい学生 ・SNS発信、写真・動画撮影、デザインなど、広報に関心・経験があると望ましい
問題・課題の難易度 (チャレンジ度)	標準レベル(★★☆) 自分たちで計画を立て、試行錯誤しながら進めていくことを期待
上記のテーマ内容・抱える問題 に関するSDGs目標	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>4 質の高い教育を みんなに</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられる まちづくりを</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>17 パートナースHIPで 目標を達成しよう</p>  </div> </div> <p>※画像をクリックするとSDGs目標の詳細をご覧いただけます</p>
おすすめポイント	様々な年代の人との出会い、交流があります。実行委員会活動を通じて、自分たちが住む 通う街や人、まちの魅力を知ることができます。 イベント企画実施に係るノウハウを知ることができます。
活動スケジュール (イメージ)	<p>5月下旬 実行委員会顔合わせ(キックオフ) 6月～令和7年1月 月1回程度の実行委員会を開催 *10月～11月頃に開催される多摩区民祭などのイベントでのPR企画、運営にも関わっていただきます。</p> <p>-----</p> <p>1月15日(金) 会場設営前日準備 1月16日(土) たま音楽祭開催 *年間通して、企画内容によっては別途打合せや企画準備をしていただきます。</p>
学生との打合せの曜日 ・時間帯	月～金 18時半以降。(チームメンバーと相談の上、決定します。)
主な打ち合わせ場所	所在地と同じ
打ち合わせ場所の最寄り駅	小田急線 向ヶ丘遊園駅 徒歩5分
受入可能人数	8名
受入先・課題のイメージ	




No.	No.3
受入先	ChopValue Manufacturing Japan 株式会社
ホームページ	https://chopvalue.jp/
事業内容	ChopValueは、使用済み割り箸を再生利用して高品質な家具や建材を製造する循環型ビジネスを展開するグローバル企業です。独自の「マイクロファクトリー」システムにより、地域で回収した割り箸を地域で製品化する地産地消モデルを確立。2025年1月時点で、世界各地に13以上のマイクロファクトリーを展開し、2億本以上の割り箸をアップサイクル、980万kgのCO2排出を抑制しています。日本では2024年に川崎市に初のマイクロファクトリーを開設。年間約2,500万本の割り箸を処理可能で、地域の雇用創出にも貢献します。製品は欧州の厳格な品質基準を満たし、高密度で耐久性に優れた特許取得素材を使用。レストランから無料で割り箸を回収し、環境負荷を最小限に抑えた製造工程で、サステナブルな製品を生み出すことで、循環型社会の実現に貢献したいと考えています。
テーマ名	お箸でつなぐ、循環の未来 ～「廃棄物」から「資源」への再定義～
テーマ詳細内容	ChopValueは、使用済み割り箸を再生利用して高品質な家具や建材を製造する循環型ビジネスを展開するグローバル企業です。独自の「マイクロファクトリー」システムにより、地域で回収した割り箸を地域で製品化する地産地消モデルを確立。2025年1月時点で、世界各地に13以上のマイクロファクトリーを展開し、2億本以上の割り箸をアップサイクル、980万kgのCO2排出を抑制しています。日本では2024年に川崎市に初のマイクロファクトリーを開設。年間約2,500万本の割り箸を処理可能で、地域の雇用創出にも貢献します。製品は欧州の厳格な品質基準を満たし、高密度で耐久性に優れた特許取得素材を使用。レストランから無料で割り箸を回収し、環境負荷を最小限に抑えた製造工程で、サステナブルな製品を生み出すことで、循環型社会の実現に貢献したいと考えています。
参加を歓迎したい学生像 必要な知識経験	貴社プロジェクトには、専修大学で学ぶ学生の皆さんのフレッシュな視点や主体的な取り組みを歓迎します。特に、チーム内外で積極的に意見交換しながら協力してプロジェクトを進め、コミュニケーションを大切にできる学生を期待しています。また、社会課題に対して粘り強く取り組み、最後までやり抜く力**を持つ方は、本プロジェクトの価値創出に大きく貢献できると考えています。 ChopValueは、使用済み割り箸を高性能なサステナブル素材・家具へアップサイクルする循環型ビジネスを展開しており、環境・資源の価値再考と創造的なデザイン思考が大切です。([ChopValue Japan][1]) そのため、環境問題やサステナビリティ、循環型経済の基礎知識がある方、またはその学びに興味を持ち主体的に学んでいる方はプロジェクトへの適応が早いと考えます。 さらに、子供たちへの環境教育や地域コミュニティ活動への関心・経験を持つ学生は、プロジェクトの社会的インパクトを広げるうえでも大いに活躍できます。本プロジェクトを通じて、持続可能な未来を子供たちと一緒に考え、実現していく意欲ある方を歓迎します。
問題・課題の難易度 (チャレンジ度)	標準レベル(★★☆) 自分たちで計画を立て、試行錯誤しながら進めていくことを期待
上記のテーマ内容・抱える問題 に関するSDGs目標	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>17 パートナリシップで 目標を達成しよう</p>  </div> </div> <p>※画像をクリックするとSDGs目標の詳細をご覧ください</p>
おすすめポイント	-
活動スケジュール (イメージ)	5月中旬:打合せ(問題・課題把握) 6～7月:具体的な打合せおよび調査・現状分析を実施 7月上旬～下旬:課題解決案提出 → 課題解決案プレゼンテーション 9月中旬～11月上旬:川崎市市内にて検討案実施 12月下旬:総括
学生との打合せの曜日・時間帯	チームメンバーと相談の上、決定します。
主な打ち合わせ場所	ChopValue Japan 事務所 又はオンライン
打ち合わせ場所の最寄り駅	南武線 武蔵新城駅 徒歩13分
受入可能人数	8名
受入先・課題のイメージ	






No.	No.4
受入先	腰越未来共創組合
ホームページ	https://www.instagram.com/koshimira2024/
事業内容	鎌倉・腰越ビジネス実装事業
テーマ名	鎌倉・腰越で「本当に儲かる店をつくる」学生プロジェクト
テーマ詳細内容	鎌倉・腰越で“本当に儲かる店”を学生がつくる。 観光地でありながらシャッターが増え、新規出店が続かず、“もったいない立地”が眠る町・腰越。このプロジェクトでは、腰越の漁師から仕入れる魚や鎌倉野菜、店舗や不動産の実データを使い、「この町で本当に儲かる店」を学生チームで設計します。 机上の空論ではなく、現地でヒアリングをしたり、実際の街とお金の動きを前提にしたマーケティングに挑戦し、あなたのアイデアで腰越の未来を動かしてみませんか。 ※このプロジェクトでは、実際に開業可能なレベルの事業計画を作るところまでを目標とします。実際の出店や投資の判断は、プレゼン後に地域や事業者が行います。
参加を歓迎したい学生像 必要な知識経験	<ul style="list-style-type: none"> ・人との会話を楽しんでできる学生:コミュニケーション能力 ・素直で、意欲的、成長志向がある学生 ・ビジネス、起業、まちづくりに興味がある学生
問題・課題の難易度 (チャレンジ度)	チャレンジレベル(★★★) 高い主体性と継続的な関与が求められる内容
上記のテーマ内容・抱える問題 に関するSDGs目標 ※画像をクリックするとSDGs目標の詳細をご覧ください	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>17 パートナシップで目標を達成しよう</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  </div> </div>
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・将来、自分の店やビジネスを持ちたい ・マーケティングを“現場”で学びたい ・就活で語れる本物の実績がほしい <p>この企画は、「地域のため」だけではなく「自分の武器をつくる」プログラムです。</p>
活動スケジュール (イメージ)	<p>5月 オンボーディング & 現場没入 6月 市場・競合・顧客の見える化 7月 STP & コンセプト設計 8月 商品・価格・原価設計 9月 テスト & 現場検証 10月 事業計画の磨き込み 11月 プレゼン準備 12月 公開プレゼン</p> <p>※現地(腰越)には月2回ほど来ていただき、現場でのヒアリング・調査などを行っていただきます。 ※分析や資料の作成は学生で行っていただき、適宜フィードバックのMTGを行います。</p>
学生との打合せの曜日・時間帯	<p>①平日であれば夕方から夜の時間帯でオンライン ②土日祝現地にて対面でセッション、店舗への訪問も同行</p>
主な打ち合わせ場所	鎌倉市腰越3-22-6
打ち合わせ場所の最寄り駅	腰越駅(江ノ島電鉄)
受入可能人数	4名
受入先・課題のイメージ	

No.	No.5
受入先	一般社団法人 観光クロスオーバー協会
ホームページ	https://kankou-xover.com
事業内容	観光産業と異業種の交差点として、挑戦する人材の育成と支援
テーマ名	観光を若者からアップデートするには 「Youth Kankou Leadership Platform」
テーマ詳細内容	観光産業は日本の基幹かつ成長産業とされながら、観光GDPは名目GDP比2.0%とG7平均を下回り、生産性や賃金水準の低さ、人手不足、DXの遅れなどの課題を抱えています。本プログラムではプロダクトアウトではなく学生目線で学び実践する仕組みを構築。前半は大型サミット等で発信し、後半は自ら観光をアップデートする企画を立案・実行することで、産業の持続的成長を目指します。
参加を歓迎したい学生像 必要な知識経験	・地域を本気で盛り上げたい人 ・最後まであきらめずに挑戦できる人 ・やりきる覚悟を持つ人 ・0→1に取り組みたい人 ・本気で取り組みたい人
問題・課題の難易度 (チャレンジ度)	チャレンジレベル(★★★) 高い主体性と継続的な関与が求められる内容
上記のテーマ内容・抱える問題 に関するSDGs目標 ※画像をクリックするとSDGs目標の詳細をご覧ください	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>4 質の高い教育を みんなに</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>9 産業と技術革新の 基盤をつくろう</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられる まちづくりを</p>  </div> </div>
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光庁や政府機関、大阪観光局等と連携した、他にはない実践型プログラム ○ 地域を活性化したい方、起業に挑戦したい方を広く募集 ○ 学生一人ひとりに伴走するメンター制度を導入(初の取り組み) ○ 企業や自治体と連携し、リアルなプロジェクトに参画可能
活動スケジュール (イメージ)	<p>5月中旬:打合せ(問題・課題把握)/チーム編成(2チーム:イベントチーム、実証チーム)</p> <p>6~7月:観光クロスオーバーサミットの運営に向けて取り組む</p> <p>8月:イベントチームを中心にイベント運営</p> <p>9月上旬:実証チームを中心に実証を実施</p> <p>10月下旬:フィードバック</p> <p>11月中旬:プレゼン作成</p> <p>12月下旬:総括</p>
学生との打合せの曜日 ・時間帯	①土曜(曜日は仮、週1で実施。必要に応じて分科会をセット)
主な打ち合わせ場所	専修大学
打ち合わせ場所の最寄り駅	神保町駅(地下鉄/都営三田線、都営新宿線、半蔵門線)出口A2より徒歩3分
受入可能人数	8名
受入先・課題のイメージ	

No.	No.6
受入先	三和電気株式会社
ホームページ	https://mitsuwa-elec.co.jp/
事業内容	照明・医療・産業装置用コアパーツの開発・製造・販売
テーマ名	U-makeの活用で地域活性化を目指す！ ～製造業×コワーキングスペースの新事業～
テーマ詳細内容	三和電気は、ものづくり企業でありながら、新たに2022年よりコワーキングスペース事業を開始しました。「U-make Workspace」は、「夢(U)を作る(make)場所でありたい」という想いを込めて立ち上げた、挑戦する人が集う場です。青物横丁駅から徒歩1分という立地を活かし、完全無人運営という新しい形に取り組んでいます。一方で、想いや価値を十分に発信できておらず、マーケティング・広報面に課題を抱え、利用者数の拡大に伸び悩んでいるのが現状です。本プログラムでは、学生ならではの柔軟な発想を活かし、U-make Workspaceの広報戦略やイベント企画、活用方法の提案に取り組んでいただきます。実際にスペースを活用しながら、「人が集まる場」の価値を一緒に考え、形にしてみませんか。
参加を歓迎したい学生像 必要な知識経験	<ul style="list-style-type: none"> ・チームと協力し意見を発信できる学生 ・他者の意見をまとめることができる学生 ・自ら積極的に行動ができる、心掛けている学生 ・最後までやり抜く力を身につけたい学生
問題・課題の難易度 (チャレンジ度)	入門レベル(★☆☆) 長期プロジェクトに初めて参加する学生でも取り組みやすい内容
上記のテーマ内容・抱える問題 に関するSDGs目標	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>8 働きがいも 経済成長も</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>9 産業と技術革新の 基盤をつくらう</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられる まちづくりを</p>  </div> </div> <p>※画像をクリックするとSDGs目標の詳細をご覧ください</p>
おすすめポイント	自分たちの提案が形になる。成果が目に見える！
活動スケジュール (イメージ)	<p>5月中旬:打合せ(問題・課題把握) 6～7月:具体的な打合せおよび現地調査・現状分析を実施 7月上旬～下旬:企画書提出 → 企画提案プレゼンテーション 9月上旬:提案内容の実施に向けた準備 9月中旬～10月上旬:提案内容の実施 10月下旬:効果計測・改善 11月中旬:改善した内容の実施 12月下旬:総括&お疲れ様会</p>
学生との打合せの曜日 ・時間帯	チームメンバーと相談の上、決定します。
主な打ち合わせ場所	所在地またはWEB
打ち合わせ場所の最寄り駅	大井町駅・青物横丁駅
受入可能人数	8名
受入先・課題のイメージ	  




No.	No.7
受入先	川崎市岡本太郎美術館
ホームページ	https://www.taromuseum.jp/
事業内容	美術館イベントの企画広報・運営実施
テーマ名	岡本太郎のアートの世界をひらく！
テーマ詳細内容	川崎市岡本太郎美術館は、《太陽の塔》で知られる川崎出身の岡本太郎の個人美術館です。昨年は、オリジナルの太陽の塔を作るワークショップを開催し、子どもから大人まで大好評でした。今年度は、改修工事のため展示室は休室ですが、館内で継続している彫刻の展示のPRとあわせて、大学生ならではの発想からワークショップやイベントを発案し、企画・広報・運営を行います。
参加を歓迎したい学生像 必要な知識経験	チームで協力しながらプロジェクトを進められる学生
問題・課題の難易度 (チャレンジ度)	標準レベル(★★☆) 自分たちで計画を立て、試行錯誤しながら進めていくことを期待
上記のテーマ内容・抱える問題 に関するSDGs目標	 4 質の高い教育を みんなに
※画像をクリックするとSDGs目 標の詳細をご覧いただけます	
おすすめポイント	-
活動スケジュール (イメージ)	5月中旬:打合せ・ガイダンス(問題・課題把握) 6～7月:具体的なイベント調査、情報収集 7月下旬～8月上旬:イベント企画の立案、レポート提出 8月中旬～9月:イベント企画の検討・決定、WEBサイト掲載情報準備・広報 9月～11月:広報活動(HP、SNS)イベント開催準備、イベント実施 12月:イベント総括と発表会準備総括
学生との打合せの曜日 ・時間帯	チームメンバーと相談の上、決定します
主な打ち合わせ場所	川崎市岡本太郎美術館
打ち合わせ場所の最寄り駅	向ヶ丘遊園
受入可能人数	3名
受入先・課題のイメージ	  

No.	No.8
受入先	武蔵小杉エリアプラットフォーム
ホームページ	https://musashi-kosugi.net
事業内容	武蔵小杉駅周辺の問題解決
テーマ名	住民が感じているゴミ散乱問題を解決しよう
テーマ詳細内容	武蔵小杉駅周辺のゴミ問題を解決しよう！ 毎日たくさんの方が行き交うコアパーク。そんな街の玄関口であるコアパークにはゴミ散乱問題と切り離せない現状があります。周辺企業の方たちで清掃活動などは行っておりますがそれはやはり点でしかなく、解決には至っておりません。 そこで学生の皆様と新たな切り口でゴミ散乱問題を解決すべく私たちはプロジェクトに参加いたしました。 捨てさせないコアパーク、綺麗なコアパークが理想の形です。 そんな理想の姿を街の方たちへお届けしたいと切に願っております。 私たちと一緒にこのプロジェクトを成功させましょう！
参加を歓迎したい学生像 必要な知識経験	協調性もありつつ、主体性を持ち発言行動できる方が望ましいです。また、地域貢献・社会貢献などに日頃から興味を持っている方だと嬉しいです。 私たち事務局が少人数なため積極的な方だと遂行しやすいと思っております。
問題・課題の難易度 (チャレンジ度)	標準レベル(★★☆) 自分たちで計画を立て、試行錯誤しながら進めていくことを期待
上記のテーマ内容・抱える問題 に関するSDGs目標	 11 住み続けられるまちづくりを ※画像をクリックするとSDGs目標の詳細をご覧ください
おすすめポイント	地域課題に街の代表として関われる
活動スケジュール (イメージ)	5月中旬:キックオフ 6月上旬:具体的な課題感の共有、調査分析 6月下旬:課題解決案の意見出し 7月中旬:案の決定 8月下旬:案の具体的内容詰め 10月or11月:企画遂行 12月中旬:総括
学生との打合せの曜日 ・時間帯	・平日 17時18時頃 オンライン1回(月に1回ほど) ・月に1回対面での打ち合わせ その他メンバーと相談の上、決定いたします。
主な打ち合わせ場所	〒211-8570 川崎市中原区小杉町3-245 中原区役所別棟2階
打ち合わせ場所の最寄り駅	武蔵小杉駅南口
受入可能人数	8名
受入先・課題のイメージ	 

No.	No.9
受入先	公益財団法人かわさき市民しきん 川崎プロボノ部事務局
ホームページ	https://shimin-shikin.jp/
事業内容	市民の寄付で活動を支える「お金の地産地消」と、市民の治験・経験を地域に還元する「プロボノ活動」を通じ、新しい地域のつながりを創出する
テーマ名	川崎市内で社会課題解決に取り組んでいるNPO,市民団体や町内会の活動支援
テーマ詳細内容	川崎プロボノ部2026では、学生5名程度のチームで社会課題に取り組む川崎市内のNPOや町内会の課題解決に挑みます。内容はSNS活用等のデジタル支援や広報戦略など実践的なものになります。活動に際しては経験豊富な社会人が「伴走支援」として皆さんの活動を強力にバックアップします。学内では学習し難い、実社会での問題発見・解決力やチームで働く力を養えます。団体との様々なやりとりを通じて磨かれる「社会知性」は、将来どのような困難も主体的に乗り越え、自らの道を切り拓くための確かな武器になります。
参加を歓迎したい学生像 必要な知識経験	「地域を良くしたいという熱意」を持ち、「社会人と協力しながら、自分の持つデジタルスキルや日常の知識を役立てたい」と考えている学生を歓迎します
問題・課題の難易度 (チャレンジ度)	チャレンジレベル(★★★) 高い主体性と継続的な関与が求められる内容
上記のテーマ内容・抱える問題 に関するSDGs目標	  <p>※画像をクリックするとSDGs目標の詳細をご覧ください</p>
おすすめポイント	<p>①地域の最前線で活動する団体の「熱い思い」に触れ、実社会の課題を肌で感じることができます。</p> <p>②高齢化が進む団体に対し、皆さんの若い感性やデジタル活用の発想は大きな力になります。</p> <p>③プロの社会人が伴走し、PDCAや会議の進め方など「仕事のプロの手法」を間近で学べるのも大きな魅力です。</p>
活動スケジュール (イメージ)	<p>5月中旬:財団との打ち合わせ(プロボノとは、進め方など)</p> <p>6～7月:支援団体と支援項目の決定</p> <p>7月上旬～10月下旬:活動</p> <p>11月中旬:活動のまとめ、振り返り</p> <p>12月:成果発表会</p>
学生との打合せの曜日・時間帯	団体と学生の皆さんの双方の都合を勘案し、お互いが無理のない形で設定します。
主な打ち合わせ場所	①団体の事務所(川崎市内になります)②かわさき市民活動センター③オンライン
打ち合わせ場所の最寄り駅	南武線、小田急線沿線
受入可能人数	3～5名
受入先・課題のイメージ	  

No.	No.10
受入先	一般社団法人シビックテックジャパン
ホームページ	https://www.civictech.jp/
事業内容	地域課題に対してテクノロジーやデザインによって問題解決を行うための企画・開発と解決手段となったサービスの運営
テーマ名	シビックテックで社会課題解決に関わる広報・マーケティング
テーマ詳細内容	シビックテックは、オープンデータやテクノロジーを使って社会課題解決に取り組む活動ですが、専門的で「自分には難しそう」と感じる人が多い分野です。本プロジェクトでは、自分自身もよく分からないという視点を大切に、同じように「知らない」「分からない」と感じている人に向けて、広報やイベントを通じて分かりやすく伝える活動を行います。テクノロジーやプログラミングなどの専門知識は不要で、初心者の方でも参加可能です。伝える工夫を重ねながら、社会とつながる実践的な経験を積むことができます。
参加を歓迎したい学生像 必要な知識経験	<ul style="list-style-type: none"> * 社会課題や公共分野に関心があり、テクノロジーを通じた課題解決に興味のある学生 * シビックテックやオープンデータを「難しいもの」ではなく、身近なものとして伝えたいと考える学生 * 広報・マーケティング、企画づくりに関心があり、実践を通じて学びたい学生 * イベントやワークショップの企画・運営に主体的に関わりたい学生 * 多様な立場の人(市民、エンジニア、行政、研究者など)との対話を楽しめる学生
問題・課題の難易度 (チャレンジ度)	標準レベル(★★☆) 自分たちで計画を立て、試行錯誤しながら進めていくことを期待
上記のテーマ内容・抱える問題 に関するSDGs目標	   <p>※画像をクリックするとSDGs目標の詳細をご覧ください</p>
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> * 社会課題解決の最前線に関われる <ul style="list-style-type: none"> - シビックテック・オープンデータを通じて、社会をより良くする実践的な活動に参加できます。 * 広報・マーケティングを実践で学べる <ul style="list-style-type: none"> - 企画立案から情報発信、イベント運営まで、机上ではないリアルな経験ができます。 * イベント企画・運営を主体的に経験 <ul style="list-style-type: none"> - 学生のアイデアを活かし、実際に1回以上のイベントを企画・実施します。 * 専門知識・プログラミング不要 <ul style="list-style-type: none"> - 初心者歓迎。社会への関心と「やってみたい」気持ちがあれば参加できます。 * 将来につながる視点と人脈が得られる <ul style="list-style-type: none"> - 市民、エンジニア、研究者、行政など多様な人と関わることで視野が広がります。
活動スケジュール (イメージ)	<p>5月:キックオフ・課題理解 6月:戦略設計・企画立案 7月:広報準備・コンテンツ制作 8~9月:実践・イベント実施 10月:振り返り・分析 11月:発展・展開 12月:成果発表</p>
学生との打合せの曜日・時間帯	チームメンバーと相談の上、決定します。(前年度は2週間に1回の開催でした)
主な打ち合わせ場所	基本は「オンライン」での開催です。必要に応じて対面で開催の予定です。場所はチームメンバーと相談の上、決定します。
打ち合わせ場所の最寄り駅	Google Meets. JR南武線 武蔵溝ノ口駅近辺/東急田園都市線 溝の口駅近辺
受入可能人数	6名
受入先・課題のイメージ	

No.	No.11
受入先	一般社団法人シビックテックジャパン
ホームページ	https://www.civictech.jp/
事業内容	地域課題に対してテクノロジーやデザインによって問題解決を行うための企画・開発と解決手段となったサービスの運営
テーマ名	地域ブランドを未来につなぐ「佐野川茶」広報・マーケティング
テーマ詳細内容	相模原市緑区・佐野川地区で育てられてきた特産茶「佐野川茶」は、香り豊かで甘みと旨みのある高品質なお茶です。しかし認知度は高くなく、生産農家の高齢化により、2026年3月には藤野茶業部が解散予定で生産者が1名となり、伝統の継承が大きな課題となっています。佐野川茶の認知向上を目的に、「お茶フェスタ」などのイベントでの広報・企画立案を行い、実際にイベント等を企画・実施します。地域ブランドを未来につなぐ実践的なマーケティングをしていただきます
参加を歓迎したい学生像 必要な知識経験	<ul style="list-style-type: none"> * 地域・農業・食文化に関心があり、地域資源を未来につなぐ活動に魅力を感じる方 * マーケティングや広報、企画づくりに興味があり、実践を通じて学びたい方 * イベントの企画や運営に主体的に関わってみたい方 * 正解のない課題に対して、自分なりに考え、行動することを楽しめる方 * 学外の人(農家・地域関係者・来場者)とのコミュニケーションを大切にできる方
問題・課題の難易度 (チャレンジ度)	標準レベル(★★☆) 自分たちで計画を立て、試行錯誤しながら進めていくことを期待
上記のテーマ内容・抱える問題 に関するSDGs目標	  
※画像をクリックするとSDGs目標の詳細をご覧ください	
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> * 地域ブランドのリアルな課題に向き合える <ul style="list-style-type: none"> - 高品質でありながら認知が広がらない「佐野川茶」を、どう伝えるかを実践的に考えます。 * マーケティングを“現場”で経験できる <ul style="list-style-type: none"> - イベントでの宣伝・企画立案など、実際の依頼を受けながらマーケティングを学べます。 * 社会性×ビジネス視点を両立した経験 <ul style="list-style-type: none"> - 地域貢献に留まらず、「どうすれば認知が広がるか」をマーケティング視点で考える力が身につきます。 * 地域・農業・食に関心のある学生に最適 <ul style="list-style-type: none"> - 循環型農業や地域文化に触れながら、社会的意義のある活動に参加できます。 * 将来につながる実践経験になる <ul style="list-style-type: none"> - 地域連携、企画力、発信力など、進学・就職にも活かせる経験が得られます。
活動スケジュール (イメージ)	<p>5月:キックオフ・基礎理解 6月:企画設計・広報準備 7月:プレ広報・テスト 8~9月:イベント実施(メイン) 10月:振り返り・改善 11月:発展・展開</p>
学生との打合せの曜日・時間帯	チームメンバーと相談の上、決定します。(前年度は2週間に1回の開催でした)
主な打ち合わせ場所	基本は「オンライン」での開催です。必要の応じて対面で開催の予定です。場所はチームメンバーと相談の上で決定します。
打ち合わせ場所の最寄り駅	Google Meets または JR南武線 武蔵溝ノ口駅/東急田園都市線 溝の口駅近辺
受入可能人数	6名
受入先・課題のイメージ	

No.	No.12
受入先	株式会社CREARAIZE
ホームページ	http://www.crearaize.com/
事業内容	システム開発
テーマ名	企業のファンを増やそう！ ～企業の魅力をアピール 企画立案・実施～
テーマ詳細内容	スマートフォンの普及で、ITって身近になりました。 そんなIT企業の仕事内容って？意外と知らないですよ。 ITに興味がある人達に、システム開発を行う当社の魅力をアピールしたいと考えています。 学生や若い世代に認知してもらうためには、どんな情報を発信すれば良いだろうか？ 学生の目線でのアイデアを取り入れて、改善したいと思います。 ・SNS(縦動画など)などを駆使して情報発信(認知度アップ) 一緒に考えましょう。
参加を歓迎したい学生像 必要な知識経験	協力してプロジェクトを進められ、最後までやり抜く力を身につけたい学生
問題・課題の難易度 (チャレンジ度)	標準レベル(★★☆) 自分たちで計画を立て、試行錯誤しながら進めていくことを期待
上記のテーマ内容・抱える問題 に関するSDGs目標	 <p>8 働きがいも 経済成長も</p> <p>※画像をクリックするとSDGs目標の詳細をご覧ください</p>
おすすめポイント	プログラミングをしないので、専門知識がなくても大丈夫。 モノ作りは何かを学び、IT企業の業務を知るチャンス。
活動スケジュール (イメージ)	5月中旬:打合せ(問題・課題把握) 6～7月:具体的な打合せおよび調査、現状分析を実施、配信内容検討 7月下旬:企画プレゼンテーション 8～10月:SNS媒体検討、フレームワーク作成、発信内容作成 11月:効果測定、実績報告 12月下旬:総括
学生との打合せの曜日 ・時間帯	チームメンバーと相談の上、決定します。
主な打ち合わせ場所	所在地
打ち合わせ場所の最寄り駅	御徒町駅(JR/山手線)
受入可能人数	5名
受入先・課題のイメージ	 

No.	No.13
受入先	株式会社森八
ホームページ	https://www.morihachi.co.jp/
事業内容	和菓子製造販売
テーマ名	「老舗和菓子店×神保町」 — 400年の伝統を地域に繋ぐ、ファン層拡大と販路創出プロジェクト
テーマ詳細内容	森八は金沢で約400年の歴史を歩んできましたが、東京店(神保町)は四谷からの移転後、まだ地域の皆様への認知向上が大きな課題となっています。本プログラムでは、単なる「店舗での販売」に留まらず、学生ならではの視点で神保町の街に飛び出し、地域コミュニティや他業種(例えば、書店・飲食店等)との連携も視野に入れた活性化策を企画・実行していただきます。「来店を待つ」姿勢から「自ら接点を作る」姿勢への変革を、学生の皆さんの行動力で店舗スタッフと共に実現し、次世代に愛される老舗のあり方を模索してください。
参加を歓迎したい学生像 必要な知識経験	主体的な「行動力」がある方 現場の状況を観察し、自分から積極的に地域の方や弊社スタッフにコミュニケーションを取れる方を歓迎します。 「食文化」や「地域活性」に興味がある方 和菓子という日本の伝統文化を大切に思い、それをどう広めるかに情熱を持てる方。 企画を形にする意欲がある方 授業での知識を活かし、実際に限られたスケジュールや社会のルールの中で「どうすれば実現できるか」を粘り強く考え抜ける方。 特別な知識は不要 最も難しい課題の1つだと思っています。専門知識よりも「新しいことに挑戦したい」「神保町の街をもっと面白くしたい」という好奇心のある方。 マーケティングの基礎知識があるとなお良いですが、マーケティングを学びたい人、授業でならったことを現場で実現したい人。
問題・課題の難易度 (チャレンジ度)	チャレンジレベル(★★★) 高い主体性と継続的な関与が求められる内容
上記のテーマ内容・抱える問題 に関するSDGs目標	  
※画像をクリックするとSDGs目標の詳細をご覧ください	
おすすめポイント	伝統と革新の融合 加賀藩御用菓子司として400年続く「本物」の和菓子文化に直接触れ、その価値を現代に翻訳する経験ができます。 「実行」まで伴走 企画を立てて終わりではなく、12月の実施に向けて準備・運営まで行うため、自分のアイデアが形になる手応えを感じられます。 多角的な視点 神保町という唯一無二のカルチャーを持つ街で、地域振興とビジネスの両側面からアプローチする実務経験が積めます。 金沢の本店との連携 東京店だけでなく、本店の副社長とも意見交換ができ、地方企業の首都圏展開のリアルを学べます。
活動スケジュール (イメージ)	5月中旬:問題把握・課題設定 6月:課題解決案提出・プレゼンテーション 7月:実行案の決定 8月:取組実行に向けての打合せ 9月:取組実現の準備 10月:取組実現の最終打合せ 11月:取組実行 12月:振り返り
学生との打合せの曜日・時間帯	チームメンバーのスケジュール状況を鑑み、基本、平日夕方～夜の時間帯で実施想定。
主な打ち合わせ場所	主にオンライン、他、東京店、専修大学神田キャンパス
打ち合わせ場所の最寄り駅	神保町駅(地下鉄/都営三田線、都営新宿線、半蔵門線)出口A7より徒歩1分
受入可能人数	8名
受入先・課題のイメージ	 

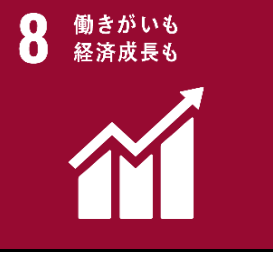

No.	No.14
受入先	株式会社KIBI
ホームページ	https://kibi-global.jp/
事業内容	グローバル人材に向けた各種支援サービス、チームビルディング・コミュニケーション能力の開発
テーマ名	～多様性対応コミュニケーション:KIBI理論～ グッズの開発・企画・製作
テーマ詳細内容	株式会社KIBIでは、「価値観や文化の異なる人と、自分らしさを活かしながら共生していくコミュニケーション能力の開発」に取り組んでいます。 情緒的コミュニケーションを科学し、大学との共同研究による検定開発などを通じて、KIBI理論を深化させてきました。 本プロジェクトでは、その理論を社会に届ける新規事業として、グッズの企画・開発から見本制作までを行います。
参加を歓迎したい学生像 必要な知識経験	人のことが好きな、人。タイプ/ いろいろなことに対する探求心がある、人と人が向き合う世界・優しい空間をつくりたい方と、一緒にプロジェクトを組んでいきたいです。 ・人に興味関心があり、相手の考えや想いに耳と心をかたむけられる。 ・真面目で素直、生意気で頑固、どちらでも対象となる。 ・KIBIの間に興味関心があり、創りたい世界観に賛同してくれる。 ・モノづくりに興味がある方を歓迎します。 ・SNS・動画作成の知識がある方を歓迎します。
問題・課題の難易度 (チャレンジ度)	標準レベル(★★★) 高い主体性と継続的な関与が求められる内容
上記のテーマ内容・抱える問題 に関するSDGs目標	
※画像をクリックするとSDGs目標の詳細をご覧ください	
おすすめポイント	① 実業体験ができます ② コミュニケーション理論を学べます ③ 自分たちの想いが「商品」として世の中に出る可能性があります
活動スケジュール (イメージ)	5月中旬:打合せ[プロジェクトの目的共有] 5月下旬~6月下旬:コミュニケーションやKIBI理論の習得 7月~8月:グッズの企画・製作工程の計画 9月:第1回プレゼンテーション 10月~11月下旬:グッズの具体的な企画と見本品の製作 12月中旬:最終プレゼンテーション
学生との打合せの曜日 ・時間帯	・基本、平日17:00~19:00を想定 ・月1回の対面(150分) 十月2回のオンライン(40分~60分) ・夏休み期間中に、対面での集中ミーティングを計5日程度実施(連続ではなく、メンバーで調整の上決定)
主な打ち合わせ場所	株式会社KIBIのオフィス、専修大学神田校舎1号館
打ち合わせ場所の最寄り駅	日比谷線仲御徒町駅徒歩1分, JR 御徒町駅徒歩5分, 大江戸線上野御徒町駅徒歩5分
受入可能人数	5名

受入先・課題のイメージ	  
-------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------





No.	No.15
受入先	ソフトコミュニケーションズ株式会社
ホームページ	https://www.sofcom.co.jp/
事業内容	デジタルマーケティング事業、クリエイティブ事業、採用リブランディング事業、WEBアプリケーション開発事業
テーマ名	大学生だからこそできる、学生目線の新卒採用マーケティング！
テーマ詳細内容	<p>少子化が進む中、企業の新卒採用は年々難しさを増しています。 大学生の価値観や嗜好を理解し、それに応じた採用マーケティングが求められる一方で、企業はまだ十分に学生のリアルを捉えきれていないのが現状です。 その答えを知っているのは、大学生であるあなた自身！ 学生の視点だからこそ生み出せるアイデアで、企業の採用課題に革新をもたらすマーケティング戦略を一緒に研究し、提案してみませんか？ 未来の採用を共に変える挑戦に、ぜひあなたの力を貸してください！</p>
参加を歓迎したい学生像 必要な知識経験	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的自由度の高い活動となるため、自ら考え、主体的に行動できる方 ・広いテーマの中で試行錯誤を楽しみながら、考える→行動する→振り返るサイクルを積極的に回していける方
問題・課題の難易度 (チャレンジ度)	<p>標準レベル(★★☆) 自分たちで計画を立て、試行錯誤しながら進めていくことを期待</p>
上記のテーマ内容・抱える問題 に関するSDGs目標	 <p>8 働きがいも 経済成長も</p> <p>※画像をクリックするとSDGs目標の詳細をご覧ください</p>
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング思考が身につく ・企業の採用活動の裏側が知れる ・自分のアイデアが採用の現場を変える
活動スケジュール (イメージ)	<p>5月中旬:初回打ち合わせ 6月～7月:企業の採用活動やトレンドについて調査・現状把握、最終的な目標決定 8月:マーケティングの勉強を通して、具体的な施策について考える基盤を作る 9月:企業の課題を解決するためのフィールドワーク等 10月:活動の結果をもとに資料作成 11月:活動終了 ※活動状況を鑑みて判断</p>
学生との打合せの曜日 ・時間帯	チームメンバーと相談の上、決定します。(基本、平日の夕方ごろを想定)
主な打ち合わせ場所	弊社オフィス、もしくはオンライン
打ち合わせ場所の最寄り駅	丸ノ内線「新宿御苑前駅」大木戸門方面改札直結 徒歩0分
受入可能人数	4名
受入先・課題のイメージ	

No.	No.16
受入先	株式会社 北研
ホームページ	https://www.hokken.co.jp/
事業内容	きのこ種菌の製造販売、きのこ菌床の販売、きのこ生産用機器および資機材の販売、きのこ栽培販売プラントの請負工事、きのこ類の生産販売、流通販売、海外コンサルティング事業
テーマ名	きのこ類の消費拡大について～美味しさの見える化～
テーマ詳細内容	日本のきのこ消費は、健康価値の高さに反して伸び悩んでいます。背景には、若年層にとって調理イメージが湧きにくく、「味の違い」や「選ぶ楽しさ」が伝わっていないことがあります。弊社や生産者である農家も、品質や技術力に自信があっても、それを消費者に伝える手段が不足しています。今後の鍵は、品種や栽培方法による風味・食感の違いを言語化・可視化する“美味しさの見える化”。大学生の視点で新しい伝え方を生み出すことが、消費拡大と産地の持続性につながります。
参加を歓迎したい学生像 必要な知識経験	様々なことに好奇心と探求心をもって取り組み、自ら考え、行動できる学生
問題・課題の難易度 (チャレンジ度)	標準レベル(★★☆) 自分たちで計画を立て、試行錯誤しながら進めていくことを期待
上記のテーマ内容・抱える問題 に関するSDGs目標	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられる まちづくりを</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>10 人や国の不平等 をなくそう</p>  </div> </div> <p>※画像をクリックするとSDGs目標の詳細をご覧ください</p>
おすすめポイント	学生の素直な感性で”美味しさの見える化”にも取り組み、その成果を実行に移し、販売先やバイヤーさんに対して積極的に提示していきたい。
活動スケジュール (イメージ)	<p>5月中旬 ・キックオフ</p> <p>6月 ・活動計画書提出</p> <p>6月中旬 ・きのこや業界について知る ・”美味しさの見える化”を学ぶ ・マーケティング(スーパーや百貨店) ・きのこの食べ比べ</p> <p>7月 ・活動状況報告会 ・生産者とのきのこ即売会に参加</p> <p>8月 ・中間振り返り会 ・消費者目線での”売れる”ポイントを探求する</p> <p>10月 ・”美味しさ”と売れるしぐみを探求する ・活動状況報告会</p> <p>12月 ・まとめ作業 ・成果発表会</p>
学生との打合せの曜日 ・時間帯	チームメンバーと相談の上、決定致します。
主な打ち合わせ場所	専修大学神田校舎
打ち合わせ場所の最寄り駅	JR 水道橋駅西口より徒歩7分
受入可能人数	8名
受入先・課題のイメージ	  

No.	No.17
受入先	株式会社ワイシーグループ
ホームページ	https://yc-group.jp/
事業内容	各種プロモーションに関する運営、企画、実施、分析 各種マーケティング及び宣伝広告 PR、イベントの企画制作運営
テーマ名	ファッションショー企画 ～ファッションショーの企画からマーケティング、プロモーションまで～
テーマ詳細内容	当社はクライアント企業の「商品売りたい」「来店を促進したい」「サービスを広めたい」といった課題に対し、オンライン・オフラインを横断したプロモーションを企画・提案しています。 本プロジェクトでは、自社主催のファッションショーを題材に、ステージ企画・モデル集客・プロモーション設計・効果分析までを一貫して実施していただきます。 実践を通じて、企画力・マーケティング思考・実行力を身につけるプログラムです。
参加を歓迎したい学生像 必要な知識経験	課題に粘り強く取り組む姿勢のある方。 マーケティング、プロモーションに興味のある方。 ※アパレルデザインや最新ファッションの試着などの業務はありません。
問題・課題の難易度 (チャレンジ度)	標準レベル(★★☆) 自分たちで計画を立て、試行錯誤しながら進めていくことを期待
上記のテーマ内容・抱える問題 に関するSDGs目標 ※画像をクリックするとSDGs目標の詳細をご覧ください	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>4 質の高い教育を みんなに</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>8 働きがいも 経済成長も</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>17 パートナースHIPで 目標を達成しよう</p>  </div> </div>
おすすめポイント	ファッションショー企画立案の仕方からスケジューリング、集客やプロモーション効果の測定まで。企画だけではなく、数値を基にした効果検証まで実行していきます。
活動スケジュール (イメージ)	5月中旬:打合せ(問題・課題把握) 6～10月下旬:企画立案、集客契約立案、LP制作、モデルオーディション開催、香盤作成、など 11月:ファッションショー実施(予定日) 12月:総括
学生との打合せの曜日 ・時間帯	5月～9月まで:月から金(11-17時)の間で月2回程度 10月～11月:月に4回程度 12月:随時 ※スケジュールは学生のみなさんと相談しながら決定していきます。 ※ファッションショー実施日は5月までに決定します。ファッションショー実施日及び準備日(ファッションショー前日)の参加が必須となります。
主な打ち合わせ場所	弊社またはオンライン(〒107-0061 東京都港区北青山2-12-13青山KYビル3階)
打ち合わせ場所の最寄り駅	銀座線外苑前駅徒歩1分または千代田線表参道駅徒歩10分
受入可能人数	3～4名
受入先・課題のイメージ	

No.	No.18
受入先	株式会社パソナグループ
ホームページ	https://www.pasonagroup.co.jp/
事業内容	・HRソリューション(人材サービス・人材紹介・HRマネジメント・教育研修等) ・BPOサービス(委託・請負)・グローバルソーシング(海外人材サービス) ・地方創生事業・保育事業・介護事業・障害者就労支援
テーマ名	AI時代を生きる。「人を活かす」これからの働き方を創ろう！
テーマ詳細内容	少子化問題が迫る！AI時代を生きる！「人を活かす」これからの働き方を創ろう！ 今、日本が抱える課題の一つに少子化があげられます。人材不足の問題とともにこれからのAI時代を生きるみなさんの働き方はどう変わっていくのでしょうか。 パソナグループでは、近年ミドル・シニア層に向けたリカレント教育やDX人材育成プログラム等、新たな働き方につながる事業を社会に向けて提案して参りました。 AI時代を乗り越えていく、人間ならではの能力(ホスピタリティ、マネジメント、クリエイティビティ)を活かしたこれからの未来社会に求められる人材を探って頂き、また新たな働き方につながる新規事業の提案をお願いします！
参加を歓迎したい学生像 必要な知識経験	何事も前向きに楽しんで下さる方、チームで協力して進められる方、 答えが決まっていない問いに対しても、粘り強く取り組んで下さる方。これからAIに強くなりたい方等
問題・課題の難易度 (チャレンジ度)	標準レベル(★★☆) 自分たちで計画を立て、試行錯誤しながら進めていくことを期待
上記のテーマ内容・抱える問題 に関するSDGs目標	 8 働きがいも 経済成長も
※画像をクリックするとSDGs目 標の詳細をご覧ください	
おすすめポイント	専修大学OBOGが皆さんをサポートしてまいります♪パソナとMicrosoft社が提供するデジタル人材育成プログラム「Code; Without Barriers in Japan(CWBJ)」を皆さんにも受けていただき、みなさん自身もAIのスキルも身に付けられます♪
活動スケジュール (イメージ)	5月中旬:打合せ(問題・課題把握) 6～7月:具体的な打合せおよび調査・現状分析を実施 7月上旬～下旬:現状報告 9月上旬:新規事業提案完成 9月中旬～10月上旬:改良 10月下旬:1回目社内プレゼンテーション 11月中旬:2回目社内プレゼンテーション 12月下旬:総括
学生との打合せの曜日 ・時間帯	チームメンバー、OBOGメンバーとスケジュールを調整して、平日夕方～夜の 時間帯で(16時～18時)実施予定です。
主な打ち合わせ場所	〒107-8351 東京都港区南青山3丁目1-30 PASONA SQUARE
打ち合わせ場所の最寄り駅	東京メトロ 表参道駅A4出口 徒歩7分、外苑前駅A1出口 徒歩6分
受入可能人数	8名
受入先・課題のイメージ	

No.	No.19
受入先	株式会社Cool Japan TV
ホームページ	https://www.cooljapantv.com
事業内容	観光事業 / アート事業 / デジタルコンテンツ事業 / 番組制作 / デジタルマーケティング・プロモーション (インフルエンサーマーケティング,CM制作,WEB広告等) / コンテンツプロデュース (商品・店・イベント・音楽・映像・その他) / インバウンドコンサルティング / 芸能事務所 etc
テーマ名	浅草観光事業における新規企画・ブランディング・プロモーションの実施
テーマ詳細内容	弊社は、日本のカルチャー・ブランドを世界に発信することをメインの活動の柱としています。 今回は、弊社でプロデュースをしている浅草の観光事業に関わっていただき、皆さんの感性とアイデアで、プロモーションや企画などを一緒にできたらと考えています。皆さんと話しながら最適な内容をご一緒しましょう。
参加を歓迎したい学生像 必要な知識経験	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者意識を持ち、自発的に発信・協力できる学生 ・時間や納期を守れる学生 ・チームで協力して実施する意志のある学生 ・このプロジェクトを第一優先順位として活動してくれる学生 ・学生時代に実践経験をし、実績をつくりたい学生
問題・課題の難易度 (チャレンジ度)	標準レベル(★★☆) 自分たちで計画を立て、試行錯誤しながら進めていくことを期待
上記のテーマ内容・抱える問題 に関するSDGs目標	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>8 働きがいも 経済成長も</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>10 人や国の不平等 をなくそう</p>  </div> </div> <p>※画像をクリックするとSDGs目標の詳細をご覧いただけます</p>
おすすめポイント	<p>社会人に求められる0から1、1から10を創る企画経験を積むことができます。3つの役割の中で希望の役割を第1候補～第3候補まで合わせて提出ください。どれも重要な役割となります。</p> <p>①プロジェクトマネジメントチーム チーム全体のプロジェクトマネジメントをしていただきます。各種役割にも責任者を配置し、プロジェクト達成に向けて、当プロジェクトの目的・ビジョンを理解し、スケジュール、タスク進捗コントロールしてください。営業活動も役割の一つとなります。※ マーケティングチームも営業活動はする可能性あり。</p> <p>②クリエイティブチーム プロジェクトのブランディングにとっても重要なビジュアルイメージの構築、その他プロジェクト内で求められるクリエイティブパートなど創造的な役割を担当していただきます。</p> <p>③マーケティングチーム 実施するプロジェクトにおけるマーケットにおける市場調査、また、プロジェクトの販促戦略 (SNS、フライヤー、動画など) を担当していただきます。プロジェクトマネジメントチームと協力して、営業活動もしていただくこともあります。</p>
活動スケジュール (イメージ)	<p>あくまでも暫定スケジュール</p> <p>5月中旬:打合せ(課題把握) 6～7月:具体的な打合せおよび調査・現状分析を実施 7月上旬～下旬 ※8月含む:企画書提出 → 企画提案プレゼンテーション 9月:企画イメージ構築 10月中:企画プレ実施 10月下旬:修正 11月:企画実施 12月下旬:総括</p>
学生との打合せの曜日・時間帯	不定期
主な打ち合わせ場所	浅草店舗・オンライン等
打ち合わせ場所の最寄り駅	浅草駅 銀座線より徒歩5分程度
受入可能人数	6名
受入先・課題のイメージ	

No.	No.20
受入先	株式会社よみうりランド
ホームページ	会社情報: https://yomiuriland.co.jp/ 施設情報: https://tokyo-giants-town.yomiuriland.com/
事業内容	読売ジャイアンツが主催するファームリーグの集客、運営。ジャイアンツタウンスタジアムの運営管理。
テーマ名	プロスポーツ興行の現場に立ち、集客施策および来場者満足向上施策の実施
テーマ詳細内容	我々は読売巨人軍主催の二軍興行の運営をおこなっており、年間10万人近くの来場者が球場へ訪れます。本拠地は昨年3月に開業したジャイアンツタウンスタジアムで、観客席とグラウンドまでの距離が短く、選手の姿をより近くで楽しむことを売りにしています。一方で若年層を中心とした新規ファンの獲得や、昨年の開業を機に球場へやってきたお客様がリピーターに繋がっていない点を課題として感じています。本プログラムでは、上記の課題解決を目的とした試合日のイベントを企画・運営していただきたいと思います。
参加を歓迎したい学生像 必要な知識経験	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバーを巻き込みながら、企画したイベントを最後までやりきる学生 ・お客様を観察し、ニーズや不満を聞き取れる学生
問題・課題の難易度 (チャレンジ度)	標準レベル(★★☆) 自分たちで計画を立て、試行錯誤しながら進めていくことを期待
上記のテーマ内容・抱える問題 に関するSDGs目標	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>3</p> <p>すべての人に 健康と福祉を</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>11</p> <p>住み続けられる まちづくりを</p>  </div> </div> <p>※画像をクリックするとSDGs目標の詳細をご覧ください</p>
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで企画したイベントを、メジャーな発信力を持つ媒体を使用して発信ができる。 ・1000名以上が来場する場所でイベントの効果測定ができる。
活動スケジュール (イメージ)	<p>5月:(問題・課題解決)</p> <p>6月~8月:現場でのお客様対応、施設見学 見学を踏まえた企画立案</p> <p>7月:企画書・予算書提出</p> <p>8月:実施内容決定、PR、イベント準備</p> <p>9月末日:企画イベント開催</p> <p>10月~12月:イベント振り返り、発表準備</p>
学生との打合せの曜日 ・時間帯	チームメンバーと相談の上、決定します。
主な打ち合わせ場所	ジャイアンツタウンスタジアム(〒206-0802 東京都稲城市矢野口3228番地南山95街区1号) or オンライン
打ち合わせ場所の最寄り駅	京王よみうりランド駅(京王相模原線)
受入可能人数	8名
受入先・課題のイメージ	 

No.	No.21
受入先	株式会社コンピュータマインド
ホームページ	https://www.compmind.co.jp/
事業内容	AI/ソフトウェアの開発、自社パッケージの開発/販売
テーマ名	新卒エンジニア採用の改善/強化
テーマ詳細内容	現在、人口の減少や就職活動の多様化により、新卒採用の難易度が上がっております。企業としては就職活動のトレンドや学生の志向性を理解し採用活動をしていく必要がありますが、社会人が理解をするには限界がございます。そこで学生のトレンドや志向性を最もよく知っている学生の皆様に弊社の採用活動にご協力いただきたいです！学生ならではの視点から採用活動(課題把握～施策実施)を行い、現在の採用活動に新しい風を吹かせていただきたいです！
参加を歓迎したい学生像 必要な知識経験	以下いずれかに該当する方 ・IT業界に理解(興味)のある方 ・採用活動に理解(興味)のある方 ・論理的思考がある方 ・抽象と具体の行き来ができる方
問題・課題の難易度 (チャレンジ度)	チャレンジレベル(★★★) 高い主体性と継続的な関与が求められる内容
上記のテーマ内容・抱える問題 に関するSDGs目標	 8 働きがいも 経済成長も
※画像をクリックするとSDGs目標の詳細をご覧ください	
おすすめポイント	IT業界やAI/システム開発についての知識が身に付きます 採用活動の上流工程から実行/改善まで経験できます
活動スケジュール (イメージ)	5月中旬～6月上旬:打合せ(会社説明、業界説明、問題・課題把握) 6月中旬～7月:市場・学生調査/仮説立案 8月～9月上旬:仮説検証、施策設計、提案書作成 9月中旬～11月上旬:施策実施 11月中旬～12月上旬:策結果報告、改善提案
学生との打合せの曜日 ・時間帯	月～金 9:00～17:30 ※17:30以降はWebでの打ち合わせなら可能 ※土曜日はWebなら可能
主な打ち合わせ場所	東京本社(東京都新宿区西新宿6-6-2 新宿国際ビルディング4F) or 専修大学キャンパス内(対面を実施する場合)
打ち合わせ場所の最寄り駅	東京メトロ丸ノ内線 西新宿駅 徒歩4分
受入可能人数	3～4名
受入先・課題のイメージ	